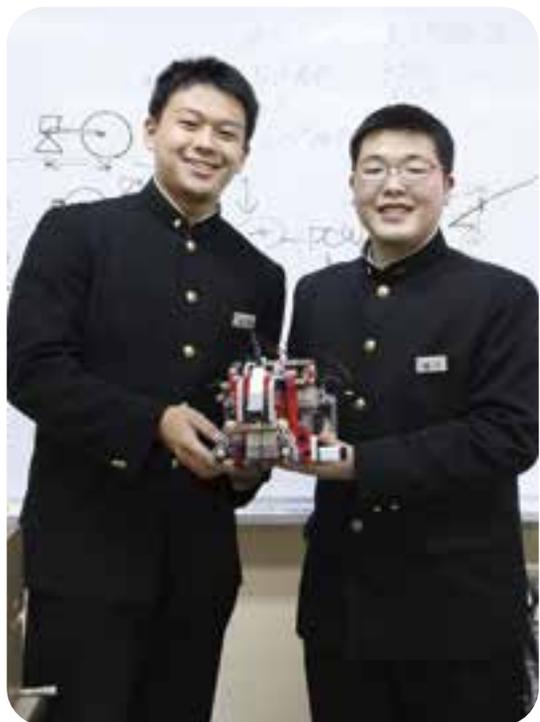


☆WRO (ワールド・ロボット・オリンピック) 2023パナマ国際大会出場



八幡浜工業高等学校 2年

帽子 ^{はるき} 明輝 さん (右:新谷中出身)
山下 ^{とつま} 統真 さん (左)

八幡浜工業高校電気技術科に通う帽子さんと山下さんは、ロボットの製作・プログラミング技術を競う世界最大級のロボット競技会であるWROの国内大会でシニア（高校生）部門3位となり、11月7日(火)～9日(木)にパナマ共和国で開催された国際大会に出場しました。帽子さんはロボットの機体製作を、山下さんは動かすためのプログラミングを担当し、二人三脚で大会に挑みました。大会ではロボットが競技でこなすミッションは全て英語で指示されます。二人は他の日本人チームと協力してミッションの内容を確認し、その場で動かすためのプログラミングを行いません。初日は満点を取りましたが、二日目は試走では順調な動きを見せたものの、本番でトラブルに見舞われ残念ながら途中リタイア。「中学校時の学校説明会でWROへの取り組みを見て、この学校への入学を決めた。来年はこれからの1年間でスキルを磨き世界で優勝を掴みたい（帽子さん）」「まずは国内大会を完全制覇（山下さん）」とまだ二年生の2人は早くも次の大会へ向けて闘志を燃やしています。



二人が製作したロボット「CARRY」

HighSchool NOW

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

Vol.84 大洲高等学校

「大洲高校 和算組」

みなさんは「和算（わさん）」をご存じですか？

和算とは「日本における江戸時代の数学」です。実は、和算は独自の計算方法などを発展させており、西洋の数学にも負けないほど高度なものでした。そして、自分の解いた問題を絵馬に書いた「算額」を作り、神社に奉納するというユニークな文化がありました。数学者だけの楽しみではなく、庶民の娯楽として親しまれていたようです。

私たち大洲高校和算組は、「数学をもっと楽しいものに」をモットーに、和算を通して数学の苦手意識を減らす研究に取り組んでいます。そして、江戸時代の和算文化に倣い、算額を作り大洲八幡神社に奉納しました！中学3年生までの知識で解けるようにしていますので、参拝された際はみなさんぜひ解いてみてください！

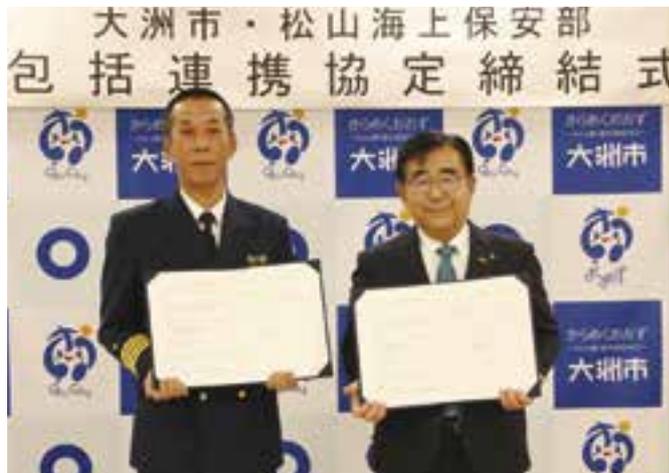


一回は大洲高等学校肱川分校からです。一

松山海上保安部と包括連携協定を結びました

水難事故防止への取り組み、環境分野における活動や防災力の向上を図るため、大洲市は松山海上保安部と包括連携協定を結ぶこととなり、12月19日(火)に市役所で協定締結式を行いました。

この協定により大洲市と松山海上保安部は防災教育や職業教育の充実、環境保全活動など4つの項目で互いに協力しながら事業を進めていくこととなります。協定式で坂中裕司松山海上保安部長は「大洲地域の安全・安心を海から支えていきたい」と今後に向けて語りました。



異文化コミュニケーション

増加している海外からの観光客に対応するため、「異文化コミュニケーション講座」が宿泊事業者などを対象にして12月21日(木)に市役所で開催されました。講師のJALチーフキャビンアテンダントの岩田真理子さんからは異なる文化をもつ相手との円滑なコミュニケーション術を、またJALふるさとアンバサダー GLOBALで台湾出身のLIN YI HARNさんからは、県が交流促進に力を入れている台湾の文化や生活について学び、参加者からは「接するときの心構えができた」との声が聞かれました。



モニターツアーでまちづくりを身近に感じて

肱南地区の古民家を活用することで、持続可能な観光地文化・伝統保全部門で世界一となった城下町再生の物語を地域の人に知ってもらおうと、12月16日(土)と22日(金)にモニターツアーが開催され、参加者は案内役である「紡ぎびと」の話を聞きながら町並みを散策しました。

ツアーを企画した(一社)キタ・マネジメントの謝璠(シャハン)さんは、「大洲のファンを増やしたい。地域の人々がまちづくりに関わりを持つきっかけになれば」と話しました。



安心・便利に 逆なげ橋開通

菅田地区と村島地区を結ぶ「逆なげ橋」が完成し、12月24日(日)に開通式と開通記念行事を行いました。

3代目となる逆なげ橋は、河川激甚災害特別緊急事業として堤防工事に合わせ、2代目より5mほど高い位置に架けられました。

この日は村島獅子の演舞や橋の下にある管理用通路の体験歩行、大声選手権なども催され、多くの住民が真新しい橋を踏み締め開通を祝いました。





商店街が水族館に

商店街に活気を取り戻そうと、店舗のガラス戸などに海の生き物を描いたガラスアート水族館のお披露目式が12月25日(月)に長浜商店街で行われました。この取り組みは「長浜まちづくり協議会」が市の「がんばるひと応援事業」を活用したもので、ガラスアートは応募作品として寄せられたものが長浜高校の生徒や愛媛大学の学生によって描かれました。生徒たちは「これを機に長浜地域を訪れてくれる人が増えればうれしい」と話してくれました。



無事に新年を迎えられるように

大洲市消防団による年末夜警が12月28日(木)から30日(土)まで市内全域で行われました。年末年始は暖房器具など火気使用の機会が増え、火災の危険性が高まるため、毎年、消防団では市民の安全のために夜間の見回りや防火啓発活動を行っています。出発式で矢野正^{まさ}祥^{かず}団長は「最後まで気を抜かず頑張ってください」と団員に向け訓示を述べました。



受賞者と関係者のみなさん

厚生労働大臣表彰おめでとうございます

令和5年度全国社会福祉大会で厚生労働大臣表彰を受賞した市内の個人や団体が、1月5日(金)に市長を表敬訪問しました。厚生労働大臣表彰は長年にわたる社会福祉やボランティアなど各分野の発展への功労に対し贈られるもので、受賞者のみなさんはこれまでの経験やこれからの活動について語り合いました。

受賞された団体、個人は以下のとおりです。

大洲市V Y S 連絡協議会【ボランティア功労団体】

昭和33年に設立され、大洲高校や大洲農業高校のV Y S部と共に児童館や児童センターにおいて子供会を開催するなど、児童や青少年の健全育成の活動を行っています。

武田麗子^{れいこ}さん【社会福祉功労者】

20年以上にわたって民生委員・児童委員と共に共同募金運動推進奉仕者として、現在も率先して活動を行い、その功績が高く評価されました。

沖野亀代子^{きよこ}さん【社会福祉功労者】

社会福祉事業の従事者として、その功績が高く評価されました。平成30年7月豪雨災害では自宅が被災しながらも、復旧や復興に尽力しました。



活動について話す高校生たち

地域おこし協力隊に新戦力

1月4日(休)、地域おこし協力隊の中村佑太^{ゆうた}隊員に辞令を交付しました。中村隊員は福岡県出身の36歳で、高等専門学校卒業後はアメリカやカナダなど海外の企業でマネージャーとして勤務したことからその経験を生かし、海外からのインバウンドに向けた情報発信のほか新規就農支援、農業の6次産業化、グリーンツーリズム振興支援などを行いながら自身の就農や起業に取り組むこととなります。



愛媛FCレディース大宮選手が一日署長

1月10日の「110番の日」を前に、正しい110番の使い方についての教室が1月8日(月)に新谷公民館で開催され、地区の親子連れなどが参加しました。教室では一日署長に任命された愛媛FCレディースの大宮央^{ひろ}選手(新谷地区出身)が模擬110番などを実演し、参加者へ適切な利用について呼びかけました。教室終了後は、白バイやパトカーの乗車体験や地元自治会によるもちつき大会が行われ、多くの人でにぎわいました。



ジャンボなかるたで地元愛を育む

1月8日(月)、肱川地区複合公共施設で「新春ジャンボなかるた大会」が開催されました。使用したかるたは、地域づくり団体の肱川プロジェクトが肱川地区の魅力をPRしようと40組制作したもので、1枚の大きさは90×120cmとまさに「ジャンボ」。参加した1歳から中学3年生までの15人は、読み札が読み上げられると地元の名所や特産品の絵札をめがけて元気に駆け回り、最後はお気に入りの絵札を持って記念撮影しました。



68回目を迎えた新春恒例行事

大洲市新春の恒例行事である寒中水泳大会が1月8日(月)に肱南ピクニックランドの河原で行われました。

大会には2歳の子供から81歳の年配者まで計54人が参加。気温4度、水温7度の中、参加者のみなさんは気を引き締めながら川に足を踏み入れ、それぞれの距離を泳ぎました。また、主馬神伝流^{しゅま しんでんりゅう}保存会員による武者業^{むしゃわざ}や甲冑業^{かこうわざ}、大学生による日傘や水書の演技に、会場からは拍手が沸き上がっていました。



きりめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急



鯛を手にした松井さん（左）と小倉さん（右：松山市在住）

今年も笑顔の鯛まきとなりました

大洲神社の十日ゑびす祭りが開催され、中日となる1月10日(水)には、大きな鯛が景品としてもらえ、幸先の良い一年となる「鯛まき」行われ、商売繁盛や家内安全を願う多くの参拝客が詰めかけました。今回、鯛と書かれた餅を拾い上げ、男性の部で約6キロの大きな天然マダイを手にしたのは市内在住の松井崇さん。松井さんは「豪雨災害では多くの人にお世話になった。この福をお返ししていく一年にしたい」と嬉しそうに語ってくれました。



地域の課題解決に高校生が挑む

地域課題に関心を持ち、解決に取り組むことで新しい価値を創造できる能力を育成することを目的とした「地域探求プログラム」の地方ステージが1月14日(日)、国立大洲青少年交流の家で開催され、長浜高校生8グループ約30人が参加しました。地元の駅の活性化や地域資源を活用したまちづくりなど取り組んだ内容と成果についてそれぞれが発表し、どれも審査員から高い評価を得ていました。

審査の結果、長浜地区を海洋教育の聖地としてブランド化しようと取り組んだグループが全国ステージへ進むこととなりました。



三善小学校6年生のみなさん

大洲の子供たちにも届きました！

メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手からグローブのプレゼントが市内の各小学校にも届き、三善小学校では1月9日(火)の始業式で児童達にお披露目されました。取材に訪れた1月17日(水)は、6年生10名がキャッチボールなどでグローブを使いながら昼休みの時間を楽しんでいました。子供たちからは「ニュースを見てから届くまでワクワクしていた」「みんなで大事に使っていききたい」との声が聞こえてきました。



「食」を通じてみんなが笑顔に

若者や子育て世代を対象に、人気お笑いトリオ「ロバート」のメンバーで料理芸人としても活躍中の馬場裕之さん(写真中央)を講師に招いた食育イベント(料理教室)を1月21日(日)、総合福祉センターで開催しました。料理教室の様子をライブ中継するライブビューイングも同時に開催され、「愛媛住みます芸人」のもりすけさん(写真右)と一緒に会場を盛り上げました。料理教室では大洲産の食材を使ったメニューを、ロバート馬場さんと一緒に料理して、料理の楽しさや食の大切さを学びました。

【レタスの冷製ミルクスープ】



材料（4人分）

レタス	100 g
玉ネギ	80 g
ニンジン	40 g
ベーコン	40 g
むきアサリ	40 g
コーン	40 g
バター	15 g
水	300ml
牛乳	300ml
コンソメ	6 g
塩	ひとつまみ
黒コショウ	少々

作り方

- ① 玉ネギはスライス、ニンジンは1ちょう切り、ベーコンは細切り、レタスは手で適当な大きさにちぎる。
- ② 鍋にバターを入れて、弱～中火で玉ネギ・ニンジン・ベーコン・むきアサリを炒める。
- ③ 玉ネギがしんなりしてきたら、コーン・水・コンソメを入れてひと煮立ちさせる。
- ④ 牛乳を加えて煮立ったら弱火にし、レタスを加えて塩・黒コショウで味を調える。
- ⑤ 粗熱を取り、冷蔵庫で冷やす。

レタスの栄養

レタスはほとんどが水分ですが、免疫力を高める働きのあるβカロテンや余分な塩分を体外に排出してくれるカリウムなど、さまざまな種類の栄養素が含まれています。

生で食べるのももちろんですが、短時間で加熱してシャキシャキの食感と緑色を残すのもおすすめです。



【レシピ提供：健康増進課】

CDO補佐官 鈴木邦和くにかずの 第14回

DXのすゝめ



災害時に市民のみなさんの命を守るためには、防災分野のDXも重要です。例えば、全国の自治体で防災行政無線が整備されていますが、近年は住宅の遮音性の向上などもあり、大雨や暴風のときに無線放送が聞こえないという問題が発生しています。特に水害時の避難情報などは命に関わるため、防災行政無線以外にもさまざまな情報伝達手段を確保しなければなりません。

そこで大洲市では、災害時にはリアルタイムで、公式LINEやSNS、スマホアプリなどを通じた情報発信を行っているほか、あらかじめ登録した人に災害情報などを送信するメールサービスも用意しています。また、国土交通省では、肱川に水位センサーやカメラを設置し、それぞれの観測所における水位情報をホームページでリアルタイムに確認できるようにしています。

今後、全国の自治体では、ドローンを活用した災害状況の把握や避難者の属性などに応じた支援物資の供給、罹災証明発行のデジタル化など、情報発信以外の取り組みも進むでしょう。大洲市としても、災害時に市民の命を守るという観点から、必要な施策を検討していきたいと考えています。

文化財

木造延命地藏菩薩座像
大洲市指定有形文化財（彫刻）
中居地区所有



この木像は河辺町の中居地区を見下ろす大師堂に祭られている像高82.9cmの仏像です。半眼の穏やかな面相で、制作年などの記録はありませんが、全体のつくりや顔の表情などから18世紀ごろに制作されたものと考えられています。

延命地藏の本来の特徴は、蓮華座上に右膝を曲げ、左足を垂らして座り、右手で錫杖を握り、左手の手のひらに宝珠を載せた姿ですが、本像は残念ながら錫杖と宝珠は現存していません。岩座（岩の形をした台座）を除いて、像の表面は漆を塗り金箔を貼る漆箔の技法が使われています。

この大師堂は「大洲藩主の御祈禱所」だったとも伝えられており、それを裏付けるように大洲藩の定紋である蛇の目紋つきの香炉が現存しています。（昭和54年9月14日指定）